

熱中症予防対策していますか？

長崎県内でも熱中症警戒アラート(暑さ指数3.3以上。大変危険な暑さ)が頻繁に発表されています。令和5年度では県内で925の方が熱中症で救急搬送されています。今年も長崎市内では5月に7人、6月には7人、7月には28日時点で、97人(高齢者52人)の方が救急搬送されています。これからの梅雨明け(7月22日発表)後の7月から8月にかけて多発する傾向があります。熱中症にならないように気を配りましょう。

文化部長 []

65歳以上の人は
とくに熱中症に注意!!!

※周囲の人は声掛け・見守り

熱中症患者の半数以上は
65歳以上の人です!

気温・湿度が高い

暑い夜が続く

暑さ指数(WBGT)が高い

熱帯夜の翌日

急に暑くなった

日差しが強く風が弱い

長崎市高齢者すこやか支援課

熱中症予防のポイント

- ① こまめに水分補給 ●のどが渴いてなくても、こまめに水分補給。
- ② 室内の熱中症にも要注意! ●エアコンなどを上手に使って室内調整。
- ③ 外出時は涼しい服装で ●帽子、日傘、水筒、風通しの良い服、うちわ等
- ④ お風呂 ●お湯の温度は40℃以下に。長湯は避ける。入浴前後で水分補給。
- ⑤ 就寝時 ●寝る前に水分補給。涼しい素材の寝具衣服で寝る。エアコンを活用。

大手門

第246号

自治会だより
令和6年8月8日
編集発行 大手町自治会

二郷橋そばに「精霊流し場」を設置します

生活安全部長 []

昨年の5月8日から、感染症法上の分類が5類に引き下げられましたが、今年7月頃からコロナ感染者数が増加しています。5類とは言え、感染予防対策に努めていただければと思います。

間もなくお盆ですが、自治会では例年通り二郷橋そばに「精霊流し場」を設置します。

二郷橋そばの「精霊流し場」は、昭和51年以来、毎年設置されており、町内はもとより、近隣の皆様からも大変感謝されております。歴代会長のもと、これからも末永く継承されますよう念じています。

なお、流し場への持ち込み時間帯は下記のとおりです。

持ち込み時間等については、厳守して頂くようお願い致します。

※ 流せる物はお供え物や提灯等が主ですが、1皿以下の精霊船も可能です。

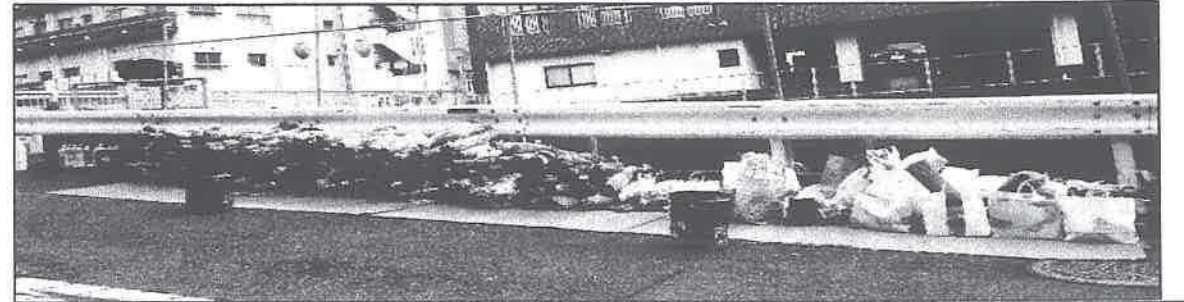
※ 大きい船は松山陸上競技場まで

直接運んで下さい。その際、「道路使用許可証」「統括責任者」「花火取扱責任者」などの届け出が必要です。詳しくは浦上警察署交通課(☎842-0110)へお尋ね下さい。

日時
8月15日 18時～21時

- 18時前には持ち込まないで下さい。
- 21時には回収車が来ますので早めに出して下さい。

※松山陸上競技場等への持ち込み受付は、17時から21時で終了となっておりますので注意して下さい。



防災講話「災害への備えと対応」

副会長

7月の理事会では、以前より会員の皆様の要望もあり、7月は「七・二三長崎大水害」の月でもありますので、私達の地域において自主防災意識の向上を図るために、長崎市防災危機管理室・廣田室長に防災講話として「災害の備えと対応」について講話をいただきました。今回は特に地震災害についてでした。長崎でも過去の地震被害の歴史を見ますとマグニチュード6程度の地震が数回発生しています。また、長崎県では橘湾、千々石に断層があり30年以内にマグニチュード7.1程度の地震が1.1%。現実的にはいつ起こるか予測するのは難しいとの見解でした。今回の講話の中で非常に興味深かったテーマがあります。「自助」「共助」の重要性についてです。

閉じ込められた人の9割以上が、自力または家族、隣人などによって救出されている事例です。

大規模な災害では、テレビニュースの通り行政の救助や支援の手が届くまでに時間がかかります。災害時には声が掛け合えるように普段から向こう三軒両隣の意識を持つて軽く挨拶をかかわす、程よい距離感を作っておくことがいざというときの「共助」につながると思います。それから「日頃の備え」として、例えば、夜に災害が発生した場合、昼間に発生した場合を家族で想定して、話し合いながら必要な小物類を書き出して少しずつ準備するのもいいかと思えます。今後も大手町自治会並びに地域コミュニティの活動の中でさらに近隣との絆を深めながら、非常時には「自助」「共助」でお互いに寄り添い安心できる大手町自治会でありたいと思います。

理事会だより

7月の議題

一 防災講話について

理事会開催前に、19時から19時30分まで、長崎市防災二市民大清掃(8月4日)作業の注意事項等について

環境部長より、8月4日に行われる市民大清掃を実施するに当り、「大手門」にも記載している注意事項等を説明すると共に、怪我等が無いように注意して下さいと依頼が有りました。

副会長も前頭で述べられていましたが、講話の中で、大規模災害等が発生した場合、「公助」(消防、警察、自衛隊等)は道路の寸断等で活動に限界があるため、「自助」(自分の身は自分(家族)で守る。「共助」地域や近隣の人

協力する。の重要性が必要と述べられました。

「自助」「共助」の活動により助かった、助けられた事例が、今から42年前、299人の死者が出た「長崎大水害」ではないでしょうか。

理事等については、8月の理事会時に提出して下さいと依頼が有りました。

○ 米寿(88歳)昭和12年生れ

○ 卒寿(90歳)昭和10年生れ

○ 白寿(99歳)大正15年生れ

○ 紀寿(100歳以上)大正14年以前生れ

- 古希(70歳)昭和30年生れ
- 喜寿(77歳)昭和23年生れ
- 傘寿(80歳)昭和20年生れ

要望事項

特になし

(総務)

8月行事

日	曜	内容
1	木	防犯パトロール
4	日	市民大清掃
8	木	理事会
19	月	昭和人クラブ理事会
26	月	大手門編集会議、役員会